

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録		
招 集 期 日	令 和 5 年 1 2 月 1 4 日 ( 木 )	
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室	
開 会	1 2 月 1 4 日 午 後 4 時 0 0 分	
閉 会	1 2 月 1 4 日 午 後 5 時 3 5 分	
教 育 長	戸 ヶ 崎 勤	
教 育 長 ・ 委 員  出 席 状 況	戸 ヶ 崎 勤	出 席
	仙 波 憲 一	出 席
	木 村 雅 文	出 席
	長 道 修	出 席
	浜 田 美 咲	出 席
説 明 員  ( 出 席 者 )	川和田教育部長、梶山参事、横田次長	
	金澤教育総務課長、河西学務課長、杉森教育政策室担当課長	
	鎌田生涯学習課長、高屋生涯学習課課長	
書 記	教育総務課総務担当 今泉主幹、我妻副主幹	
傍 聴 人	2 名	

## 会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長

今年の夏は、猛暑日の日数と、真夏日の連続記録を更新し、つい3ヶ月程前までは、茹だるような暑さが続いていましたが、いつの間にか天気予報で雪マークを多く見かけるようになり、本日が今年最後の定例教育委員会となりました。ここで改めて、今年1年を振り返ってみますと、

元日、関東地方は風も弱く大変穏やかに新年が明け、新年一般参賀が3年ぶりに行われました。小倉こども政策担当大臣やこども家庭庁設立準備室の皆様が本市にお出でになりました。

2月、岸田総理と永岡文科大臣等が戸田東小学校に来校されました。上野動物園のパンダ・シャンシャンが、別れを惜しまれつつ中国に返還されました。

3月、岸田総理がウクライナを電撃訪問し、ゼレンスキー大統領と首脳会談を行いました。大谷翔平選手らが活躍し、WBCで日本が3大会ぶりに優勝しました。美笹中学校に17歳の少年が刃物を持って侵入する事件が発生しました。

4月、岸田総理の演説会場に爆発物の投げ込み事件が発生しました。

5月、ついに、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、4年ぶりにマスクなしの生活に戻りました。

6月、藤井聡太竜王が、20歳10カ月、史上最年少で名人位を獲得するとともに、史上2人目の七冠を達成しました。さらに10月には初の全八冠を制覇しました。

7月、中古車販売のビッグモーターが保険金を水増し請求していた問題が明るみとなり、社長が引責辞任を発表しました。

8月、全国高校野球選手権大会決勝で、慶応義塾高校が107年ぶり2回目の優勝を果たしました。ハワイマウイ島では、大規模な山火事

により多くの被害が発生し、改めて自然災害の恐ろしさを目の当たりにしました。

9月、パ・リーグではオリックス・バファローズが3連覇、セ・リーグでは阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝を果たしました。

10月、性加害問題でジャニーズ事務所が廃業すると発表しました。戸田中央総合病院で発砲事件が発生し、その後蕨郵便局で立て籠もる事件が発生しました。

11月、5年ぶりとなる秋の園遊会が開催され、私も出席させていただきました。大谷翔平選手が10月の日本人初のホームラン王に続き、ア・リーグ最優秀選手(MVP)に史上初となる2度目の満票で受賞しました。

12月、東京都は、都内在住の高校生を対象に授業料無償化の所得制限を撤廃し、私立を含む全高校の授業料を2024年度から無償化する方針を決めました。それに呼応するように、政府は、子育て支援策として3人以上子供がいる家庭について大学の授業料などを所得制限なしで無償にする方向で検討に入りました。そして、いま政治資金パーティーを巡る問題で政界が揺れています。

そして、今月は、「新語・流行語大賞」の年間大賞は、阪神タイガースのチームスローガンである「アレ(A.R.E.: Aim, Respect, Empowerの頭文字)」が選ばれ、「今年の漢字」として、増税の話題やインボイス制度の導入などがあり「税」の字が選定されました。

一方、教育界に目を転じてみますと「こどもまんなか」社会を目指して「こども家庭庁」がスタートしました。不登校の数は10年連続で増加傾向にあり、文部科学省はCOCOLOプランを策定し、多様な学びの場の整備や教育相談の充実などを求めています。

また、セカンドギガに向けた国費での整備が決定、教師不足が叫ばれるとともに、教師を取り巻く環境整備についての緊急提言や大臣メ

	<p>ッセージが出され、改めて学校の働き方改革が強く求められています。定年延長による教職員人事や相変わらずの教職員事故防止の対応も求められています。</p> <p>さらに、本市においては、戸田第一小の新校舎完成、様々な防犯対策の強化、ホワイトボードとプロジェクタの全校設置、ゼロトラストの考えによる教職員端末の一台化、西すてっぷの新設、ペーパーティーチャー説明会、プラチナ優秀賞（インクルーシブ教育賞）の受賞、学校給食費の一定期間の無償化、図書館 40 年を記念した「としょかん感謝祭」の開催などがありました。</p> <p>産官学と連携した教育等がさらに深化し、ICT 教育、データ利活用、オルタナティブな不登校対策などの取組が、マスコミや全国の教育委員会等からも注目され、中央省庁、全国各地の議会、教育委員会などの視察が昨年以上に相次いでいます。</p> <p>これもひとえに教育委員の皆様、そして、学校関係者や教育委員会事務局の皆様とのチーム力が結集していた証と深く感謝申し上げたいと存じます。</p> <p>来年の干支は「龍」になります。「龍」は、天空を翔ける力強さと、地を這う知恵を兼ね備えた、縁起の良い生き物です。来年も、皆様が、龍のように力強く、知恵を持って、活躍されますよう、心からお祈り申し上げ、今年一年のお礼と教育委員会開会のあいさつとさせていただきます。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、ただ今から、令和 5 年第 12 回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>了承</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、会議録に御署名をお願いいたします。</p>

各委員	署名
教育長	では、校長プレゼンから始めたいと思います。今回は戸田東中学校区のプレゼンです。お願いいたします。
説明員	【各校長よりプレゼン】
教育長	ありがとうございました。それでは順番に御質問と御意見等よろしくお願いいたします。
委員	<p>御説明ありがとうございます。</p> <p>様々な実践をしていらっしゃることは存じ上げていますが、着実に形になっていることがよくわかりました。</p> <p>今の御説明の中で、一つ質問があります。戸田東中学校には、喜沢小学校と戸田東小学校の子供が入学することになりますが、特に喜沢小学校の子供達は戸田東小学校の子供達と違い、地理的に離れています。中学校に入ってきた時に、喜沢小学校の子供達と戸田東小学校の子供達との間に、何らかのギャップは生まれていないのでしょうか。</p>
校長	その点については、我々も心配していました。しかし、戸田東小学校も喜沢小学校もPBL等の素晴らしい取組をしていますので、ギャップなどはないと思っています。自然に授業にも入っていますし、協働的・探究的な活動にもしっかり入っていますので、小学校の両校ともが非常に素晴らしい教育活動をしている成果だと考えています。一方で、普段からきちんと注意しながらやらなければいけないとも思っています。
委員	先ほど、中学生の英語の能力が高いと御説明がありました。それほど高いのであれば、例えば、英語によるプレゼンテーションなど、1歩踏み込むお考えはないのでしょうか。
校長	英語はプレゼンテーション大会とは別に、弁論大会を行っています。機会があればぜひやらせてみたいと思います。

<p>委員</p>	<p>施設一体型の小中学校一貫校ということで、スタート時点から大変だったと思います。「グローバル社会で将来豊かに生き活躍できる児童生徒の育成」という目標に向かって先生方の日頃の努力が実を結んでいることがよくわかりました。学力や英検についても、非常に良い成果を挙げられていると思います。</p> <p>質問ですが、先ほど、小中学校9年間を見据えた教育課程の編成の児童生徒合同による教育活動の推進について、行事ではなく、音楽の授業を合同で行っているということでした。これは、小学校と中学校どちらの先生が主体でやっているのでしょうか。また、音楽以外にはどういうことを行っているのでしょうか。</p>
<p>校長</p>	<p>音楽に関しては、小学校の方に文部科学省で表彰されたこともある優秀な教師がおり、中学校の音楽教師とは先輩後輩関係なこともあって、繋がりやすい面があります。授業を中心にというのは、小学校の教師が中学生の練習を見たり、小学校6年生の様子を中学校の先生が聞いたりするなどの形をとっています。今まで構想はありましたが、コロナの影響もあり全くそういうことができていなかったもので、実現したのは今年からです。これからさらにやっていきたいと思っていますが、属人的にならないような形で残していきたいと考えています。</p> <p>主な授業はPBLです。例えば、地域に根差した課題解決の課程で、小学校6年生が中学生に取材に行く、あるいは、中学生が小学生に聞き取りアンケートをするなど、自分たちの生活を変えていくような交流を行っています。こちらも今年からやっとできるようになりましたので、もっと力を入れていきたいと思っています。PBLを中心にしながら、将来的には教科の乗り入れなどを目指して、現在は教師同士でも少しずつ交流をして、授業をやってみようとなっています。</p>
<p>委員</p>	<p>次に、小中学校の教職員の同僚性の構築の定期的な合同レクリエーションについては、説明がありませんでしたが、どのようなことを行っているのでしょうか。</p>

<p>校 長</p>	<p>これは、教職員の間で自走しているもので、小中学校合同のソフトバレー大会などがあり、若手の教師同士でアリーナを使ってソフトバレーをやっています。いわゆる勤務時間外で、中学校は部活がない期間、あるいは部活が終わった後に、小一時間いい汗を流しているようです。</p>
<p>委 員</p>	<p>日頃から、そのような場や職員室の中で、密接な意見交換、情報交換が行われているのだと感じました。</p> <p>最後に、ICT 機器や電子黒板機能付きプロジェクタなどを戸田東小・中学校はよく使っていると思います。どうして、教師の個人レベルではなく、学校の組織として使えるようになっているのかを伺いたいです。</p>
<p>校 長</p>	<p>これは、校長会でもピアレビューでもしているところですが、小学校も中学校も各学年にいる、ベテランで授業のうまい学年主任クラスの教師と、若手で ICT 機器が使える教師のコラボレーションで実現しています。</p> <p>小学校の場合では、若手の教師が、こういうのをここで使えそうと提案し、ベテランの教師が、それではねらいを達成できないのでは、そのような使い方ができるのであればこの場面で使うのはどうか、というような形で話をしています。放課後の学年会などで、授業をどうするかの話がそのまま ICT を活用した授業づくりの話になっていったことが大きかったと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>御説明をお聞きしても、資料から拝見しても、非常に生き生きとした子供達の様子があって大変嬉しく思いました。</p> <p>行事という話が途中でありましたが、どれくらいコロナ前に戻っているか、また、何ができて何ができていないのか、あるいは小中一貫の中で、合同で何か工夫をしたような行事をされているのかをお聞かせいただきたいです。</p>

<p>校 長</p>	<p>両校長とも全てをコロナ前に戻す気は全くありません。授業が勝負とと思っていますので、あるべきことをしっかりやっけていこうと思っています。</p> <p>行事として新たなことというよりは、先ほどの、音楽をみんなで聴く、中庭で昼休みに聴くという形です。</p> <p>また、委員会活動として、中学校の図書委員会の子供達が、小学校に行って読み聞かせを行う企画をしているなど、他にも企画段階のものはいくつかあります。</p> <p>小学校、中学校で「 運動をしよう」といった大きな動きはまだありませんが、これから先、小学校で PBL をやっていた子供達が次々と中学校に在籍することで、中学校の中の委員会やそのような活動で小学生と交流をしたいという形で広がっていくのではないかと考えています。</p> <p>コロナは5類になりましたが、まだ、学校の中で少しずつ広げているのが限界かと思います。ただ、オンラインを使っけての交流等はすぐできそうなので方法を検討中でございます。</p>
<p>委 員</p>	<p>大変、勢いと元気があってよいと思いますので、どんどん進めていただければと思います。ありがとうございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>では、他にはいかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>御説明ありがとうございました。</p> <p>私は特に PBL の授業がとても気になっていたんで、今回具体的に説明していただけて良くわかりました。ありがとうございます。</p> <p>先ほど他の委員からお話がありましたが、私も少し気になっていたことが、喜沢小学校から四十数名入学してくるというところなんです。喜沢小学校でも素晴らしい取組をされているとのことでしたが、普段から喜沢小学校との連携は何か行っているのでしょうか。また、戸田</p>



	<p>市内で唯一の同じ建物での、小中一貫ということで、逆に何か課題になっていることもあればお聞かせいただきたいです。</p>
校 長	<p>喜沢小学校の子供達は選択制であり、戸田東中学校に入学する子供は年々多くなってきており、現在は 40 人を超えています。小学校の中でも近所ですので、色々なスポーツクラブなどですでに交流している子供が多いです。</p> <p>例えば、入学してから、出身が喜沢小学校であるとか戸田東小学校であるということではいがみ合うことは全くありません。もちろん、我々も保護者と連携し、引継ぎなどをきちんとしながら、心配な生徒は特別な配慮はしていきませんが、本当に自然に馴染んでいますので、1 か月、2 カ月経てば出身小学校の違いなどは全く感じません。</p> <p>大人が心配するよりも、子供の方がうまく人間関係を作っているように思います。一方で、教育課程のことも含めて、喜沢小学校の校長先生とも、校長会や日々の対面、また電話の連絡などにより、非常に綿密に連携しています。中学校としても小学校の子供達の様子を、事前にしっかり把握しながら対応していく必要がありますので、そういうところを怠らず大事にしていきたいと思っています。</p>
教 育 長	<p>一貫校としての課題の方はどうですか。</p>
校 長	<p>正直言ってありません。</p> <p>施設が共有するところはいくつかあるので、そこが奪い合いになってしまう可能性もありましたが、全て ICT 関係で管理していますので、お互いに譲り合って利用しています。</p>
教 育 長	<p>最後に私からですが、小中連携や小中一貫は、単なる行事やトピック的なもので接続するのではなく、大事なことは、例えば学びが深化充実することだと繰り返し申し上げており、その辺りを戸田東小中学校は努力して体現していただいているので、非常にありがたく思っています。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>それでは戸田東中学校区の校長先生方、ありがとうございました。 今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>両 校 長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>続きまして、「教育委員提案」について御報告いたします。 仙波委員、浜田委員から御提案のありました「教育委員提案 戸田市の ICT 教育の現状について」を事務局より説明願います。</p>
<p>説 明 員</p>	<p>御提案のありました ICT 教育の現状について報告いたします。なお、関連の提案が複数ありましたので、2 回に分けて報告します。</p> <p>2 ページを御覧ください。現状と課題です。戸田市は 2016 年から国の GIGA スクール構想に先駆けて整備や取組を進めてまいりました。2020 年以降は、他自治体より先んじて、いわば取組の第 2 フェーズにあるものと認識しています。</p> <p>柱となる取組としては、教育総合データベースを中心とした「教育データの利活用」、不登校支援をはじめ、誰一人取り残されない教育、オルタナティブ教育へのトライアル、モラル教育から一步進んで責任ある利用者となるためのデジタル・シティズンシップ教育の充実などに取り組んでいる状況です。</p> <p>3 ページを御覧ください。そこにあるように、1 人 1 台端末の活用をより効果的なものにしたいということから、夏に全小中学校に電子黒板機能付きプロジェクタを導入しました。活用が加速度的に進み授業デザインの変革が起こっている一方、全国的な課題だと思いますが、教師間での差もまだまだあるのが現状です。そのため、好事例を横展開することが必要であると考えています。</p> <p>1 人 1 台端末が導入されたことで児童生徒にはこれまでの禁止・管理の端末の使わせ方から、責任ある利用者となる意識の変革が必要となっています。そこで、デジタル・シティズンシップ教育を本格導入すべく、今年度は事例や取組を整理し、令和 6 年度から各校の年間指</p>

導計画に位置づけ、計画的な実施を行います。

また、令和の日本型学校教育の実現に向けて、ICTの高度な活用により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、「非同期の学び」への挑戦を行っています。

デジタル教科書については、指導者用を入れておりますが、利用状況に差があることから、好事例を情報共有するとともに、学習者用のデジタル教科書の導入についても研究を進めていきたいと考えております。

それでは、4ページを御覧ください。観点の1つ目が仙波委員御提案の「電子黒板機能付きプロジェクタ活用の事例」についてです。

8月に導入し2学期からの利用ですが、市内では活用が想像以上に進んでおります。1人1台端末と連動することでホワイトボードに2画面を提示できるよさを生かし、児童生徒の考えをもとにした「子供が主語」の授業デザインへの変革が進んでいます。電子ペンの活用により、手書きの内容もデジタル化され、過去の板書を即時参照し、単元や学習につながるの学びが進んでいます。デジタル教科書との親和性も高く、児童生徒の視線の移動が少なく学習に集中できる環境となっています。まさに「主体的・対話的で深い学びの実現にむけたマストアイテム」といえます。

5ページは2画面の利用例です。従来の50インチのテレビに比べ教室後方からも見やすく、画像のように二つの写真を比較し、意見を出し合うなど、子供たちの話合いで授業を展開することがよりスマートにできるようになっています。

6ページは編集機能です。電子黒板に表示したものや書いたものは図化されます。それを使って説明したり、まとめたりできますので、学習内容が理解しやすくなっています。

また、7ページ、電子ペンにより、手書きで書き込むことが可能で

すし、データとして保存できますので、前回の学習を次の授業につなげていくことができます。

あわせて8ページ、右側に子供の画面を提示し、発表、書き込んだものを左側の板書として残す画面に取り込むことができますので、従来教師が書いたものでまとまっていた板書ですが、子供の発表や学びの足跡を利用して板書を作ることができます。

9 ページも子供の意見や考えをもとにした全員参加型の授業例です。

10 ページは ICT の特性・メリットですが、共同で編集できることや即時性、豊富なコンテンツ、やり直しがしやすいなど、これらを観点として指導主事が指導をしたり、学校等の研究を進めたりしております。

観点の2点目は1人1台端末活用の事例です。

11 ページ、戸田市では ICT の文具化に向けた指標として、フィンランドの Ruben.R.Puentedura 氏の研究をもとに、戸田市版 SAMR モデルを整理、学校にも共有し、活用を進めています。子供自身が ICT を文具的に活用する M や R 段階に向けて、個別最適・協働的な学びの実現や実社会の課題解決にむけた学びが展開されるよう、学びの改革と一体的に取り組んでおります。

12 ページは教育長が4月の校長会議で示している「非同期の学び」についてです。デジタルの学びはコミュニケーションの在り方が、同時・一斉ではなく、それぞれに異なる場面があることを強調しています。メールやクラウドの情報取得などはまさにそれだと言えますが、学校と家庭での学びが繋がったり、教室と図書室での学びが繋がったり、昭和から令和の日本型学校教育への転換により、一人ひとりの子供が自ら学びの時間を刻む、主体的な学習者となることを意図しています。もちろん、集団生活を送る上でのモラルは重要です。

13 ページ、個別最適な学びの事例です。子供たち自身が自ら学ぶ目標を設定し、学習計画表に基づき個人またはグループで学びを進める姿が多くなっています。総合的な学習の時間ではすでにこの姿になっていますが、各教科等の学びでも挑戦が進んでいます。そして、ICTの活用により、教師が学習状況を瞬時に把握し、指導と評価の一体化につなげています。

ICTを活用した家庭とのシームレスな学びとしては、14 ページを御覧ください。家庭学習で自己目標を設定した上で、授業で試技の様子を撮影してもらい、放課後には友達のよい技の様子も参考にさらにねらいに近づけるように課題を設定、解決方法を考える、などの取組も進んでいます。

また、15 ページは問題解決に生かすための活用です。子供たちが自分事として取り組める仕掛けとともに、主体的に、比を日常生活のどのような場面で活かせるかの表現について自己選択・自己決定を繰り返し、学びを深めています。

16 ページは理科の実験ですが、仮説を検証する手立てを各自で設計し学びを進める授業です。各々の選択したツールで状況の進行管理・考察・表現を行えるよう、教師は多様な教材や実験器具といった学習環境を意図的に設定しています。

17 ページ。本日は、説明の前半ということで大きく2点説明いたしました。様々課題も含めて申し上げましたが、大前提としては、戸田市の先生方、子供たちは、かなりICTを活用しています。県の調査を見ても他市町に比べ活用が飛躍的に進んでおり、ICTについては最大のテーマとして多くの自治体から視察を受け入れております。その中でも、視察者は口々に子供たちのICT活用の様子に驚かれています。しかしながら、現状に満足することなく、子供が学びのハンドルを握る「文具的活用」を一層推進し、「子供が主語となる学び」の実現に繋げてまいります。そのため、事務局としても学校に伴走し、その積

	<p>極的な自走を支援していきたいと考えております。</p> <p>説明は以上となります。</p> <p>今回は、複数の委員様から御提案の教師の ICT スキル向上を目指した研修の状況や、保護者や市民への ICT 教育の必要性の啓発などについて報告いたします。以上でございます。</p>
教育長	何か御質問等ございますか。
委員	<p>すごく細かく説明していただいてありがとうございました。</p> <p>本当にただただ感心するばかりで、こんなにすごい機能があるのだと改めて知ることができて本当によかったです。</p> <p>学校訪問をさせていただいても、よく活用されている先生方が多く見られてきているので、これからの教育に期待ができ、嬉しく思っています。</p> <p>また、デジタル・シティズンシップ教育のカリキュラム化が今度から行われるということですが、子供達を見ていてどんどんパソコンを使い慣れてきて、保護者の目の届かないところで様々な文書を検索して見るようになってきているので、ぜひ、学校でデジタル・シティズンシップ教育をしっかりとやっていただけたらと思っております。</p>
教育長	他には、いかがでしょうか。
委員	やはり先ほどお話にも出ていましたが、教師間の能力の差が感じられます。学校訪問に行かせていただいても、同じ学校の中でも、しっかり使えている方もいれば、黒板と変わらないような方もいます。差が開いてしまっていますので、しっかりと対応していただきたいと思えます。
教育長	続いて、お願いいたします。
委員	先ほど 16 ページに理科の内容が出ていたと思いますが、いつも思うことは、一人で解決したい子もいれば、二人、三人で解決したい子

	<p>もいるということです。現在は、三、四人くらいの班にはなって授業をしています。一人で解決した方がはかどる子、あるいは友達と協力した方がはかどる子、どちらもいると思います。そのような複雑な授業は難しいのだろうかと思いつつ見えています。</p> <p>また、1人1台端末活用の好事例を紹介する事例集などが、今後できるのでしょうか。</p>
事務局	<p>事例集の作成は、今のところ考えていませんが、校長ピアレビューで取り組んでいるように、グッドプラクティスを横に広げていく研修会で好事例を共有していく予定です。</p>
委員	<p>このデータを教えるだけでも、広がると思います。ぜひ、よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>今、委員が言われた、教室の中で、個別で学びたい子もいればグループでやりたい子もいるという、そこがまさに非同期型の学びだと思います。その中で個別学習があったり、グループ学習があったり、または、実験の初歩の部分のわからない子など、一部の子供に対しての一斉授業があってもいいと私は思っています。</p> <p>一律にみんなに指示してみんながグループ学習をやるというのは、同期型の学びです。その辺のところも今後は柔軟に考えていく必要があります。ぜひこのようなよい取組については、全校に無理なく広げていくことでお願いできればと思います。</p>
事務局	<p>かしこまりました。</p>
教育長	<p>最後よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>いろいろ詳しくお話をいただきましてありがとうございました。</p> <p>特に電子黒板の教育効果をまざまざと見せつけられました。つい何日前にも、テレビでそれを活用している都内の中学校での事例が出ていました。私は現場で見っていますが、知らない人がニュースを見たら、とんでもない学校が出てきたという印象を持つと思います。その</p>

	<p>くらい強力なツールが学校の中に入ってきているということです。そのため、それをうまく使いこなせるか、使いこなせないかは、これから時間をかけてやればいいのかという気はします。できなければできないで、ゆっくりやればいいのかではないでしょうか。</p> <p>次に、私はまだ自分の中できっちりと整理ができていないので、教えていただきたいのですが、個別最適な学びと非同期型の学びは、全くセパレートな概念なのか、それとも補完的なものなのではないでしょうか。</p> <p>例えば、全員参加型の授業やグループ学習は同期型の学びかという気もしますし、PBLには同期型もあります。一方で非同期型的な面もあります。個別最適な学びについても、非同期型という問題と被ってくるのだろうかと思いつつも、微妙に違うのだろうかとも思います。</p> <p>私も聞いていて、整理がついていませんが、恐らく次回の内容の中で、研修でどのように先生方にそれを教え込んでいこうとするのかを伺えれば、教育政策室の理解の度合いがわかるのではないかと楽しみにしています。</p>
<p>教育長</p>	<p>次長からいかがでしょうか。</p>
<p>次長</p>	<p>私は個別最適な学びと非同期型の学びは、少し重複する部分もあるのではないかと考えています。</p> <p>例えば、自由進度学習のようなものを市内のいくつかの学校で行っています。それは一人一人が計画を立てて進めて自己調整するという意味であれば、個別最適な学びにもつながっていますし、同期型ではなく一人で学びの時間を刻んでいるという意味では、非同期型でもあると思います。一方で、非同期の学びの中には、個人で進める子もいれば、二人で進める子、また、四人で進める子もいれば、先生の前に集まって一斉授業を受ける子もいると思います。つまり、必ずしも非同期型＝個別最適ではないと思いますが、重複している部分もあるのではないのでしょうか。</p>



<p>教育長</p>	<p>簡単に言うと、個別最適な学びという集合体があり、非同期型の学びはその集合の中に内包されている様々な方法論の一つです。非同期型の学びは、個別最適な学びの一つの手段でもありますし、それをどちら側から見ているかによって、内包なのか外包なのかはまた違ってきます。次長が言ったようにイコールでもありますし、違った部分でもあります。しかし、目指しているものは同じですから、学びの深化であることは間違いありません。</p> <p>私の方からは2つあります。1つ目は、特に教育総務課が所管になると思いますが、ホワイトボードへのプロジェクタの投影が、日差しが入り方によって見にくくなっている教室があるのではないかと考えています。改めて点検して対応をしていただきたいと思います、</p> <p>2つ目は、先ほどから話が出ていた、教師一人一人を育てていくということについてですが、ちょうど今日の午前中の中央教育審議会の部会の中で、「守って育てる」という言葉が出ました。これはとても大事な言葉で、今までは叱って育てるといいますか、どちらかというところ、「教師はちゃんと使えよ」という感じでやってきました。「守って」とはどのような意味があるかということ、教師が困っている状況にしっかりと寄り添うということだと思います。昔は意図的に逆らっている教師も一定数いたかもしれませんが、今はGIGA等の新たな課題に対しての戸惑いや、うまく使えずに困っているというのが多いのではないのでしょうか。この概念としての「守って育てる」というのはとてもいいのではないかと感じましたので、その意味で、困っている教師に寄り添ってあげることが非常に重要だと思います。そういったことがそれぞれの学校でできていけば、どんどん浸透していくのではないかと感じました。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは以上を持ちまして「教育委員提案」を終了いたします。</p> <p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして6件の報告がございます。</p>

	<p>令和5年12月戸田市議会定例会 教育関連一般質問及び 常任委員会について</p> <p>中学校選択制による入学希望校最終申込状況について</p> <p>第22回昔のくらし展の開催について</p> <p>市民大学講座・家庭教育学級「人権講演会」の開催について</p> <p>市民大学講座「現代課題講座」の開催について</p> <p>その他</p> <p>資料 No.2 に基づいて、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、全ての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事務局</p>	<p>報告事項 令和5年12月戸田市議会定例会 教育関連一般質問及び常任委員会について 報告させていただきます。</p> <p>はじめに、一般質問については、三浦芳一議員から「学校給食費無償化の継続について」、むとう議員から「子供の居場所について」、野澤議員から、「中学校部活動地域移行について」、林議員から「戸田市の教育について」、酒井議員から「生涯学習・社会教育行政の一般部局化について」、花井議員から「誰一人取り残されない教育の充実について」の質問があり、教育部長及び企画財政部長から、それぞれ資料のとおり答弁しました。</p> <p>次に、議案については、工事請負関係として、「戸田第一小学校改築等工事( 期)屋内運動場等解体及びグラウンド整備工事請負契約」と「戸田第一小学校改築等工事( ・ 期)請負変更契約」について提案しております。</p> <p>次に、補正予算については、歳出として、主に学校給食センターの賄材料費が物価高騰により不足するため、学校給食センター賄材料費の5,629千円増額。継続費として、新曽小学校及び芦原小学校教室棟(含給食調理場)増築等工事の補正。債務負担行為として、小・中学校の「消防設備保守点検業務委託」、「ICT教育支援業務」、「小学校補習授業業務」、「小学校指導者用デジタル教科書使用料」、「備品購入</p>

	<p>費(教師用指導書)」、「戸田南小学校水泳指導業務」の補正であり、令和6年度から契約する業務の事務を円滑に進めるため債務負担行為を設定するものです。</p> <p>以上です。</p>
事務局	<p>報告事項 中学校選択制による入学希望校最終申込状況について報告させていただきます。</p> <p>10月23日に、最終選択期間を締め切り、集計を行いましたところ、申込者が最終的に定員を超えた学校はありませんでしたので、今年度につきましても抽選会を実施することなく、全員が希望校に入学できることとなりました。</p> <p>なお、入学通知書は、1月中旬頃に各家庭に発送する予定です。</p> <p>以上でございます。</p>
事務局	<p>報告事項 第22回昔の暮らし展の開催について 報告させていただきます。</p> <p>戸田市立郷土博物館3階 特別展示室等において、第22回「昔の暮らし展 はっけん 昔の暮らし」を開催します。</p> <p>期間は、令和6年1月20日(土)から3月10日(日)までの46日間です。</p> <p>内容は、「電気・ガス・水道」の設備がなかった頃、人々は自然の力を巧みに利用して道具を作り、工夫して生活をしていました。そのころの道具と初期の電化製品との比較のほか、土間や茶の間等の住居の再現、写真パネルをとおして、主に昭和の人々の暮らしの変化と戸田の町並みの移り変わりを紹介するものでございます。</p> <p>この展示会は、博学連携事業の一環でもあり、小学3年生の学習「人々の暮らしのうつりかわり」をサポートする企画となっております。</p>

	<p>参考までに、直近 10 年間に開催した企画展の名称、入場者数等でございます。以上でございます。</p>
事務局	<p>報告事項 市民大学講座・家庭教育学級「人権講演会」の開催について 報告させていただきます。</p> <p>子供達を取り巻くインターネットの問題については、メディアを賑わす事件もあり、関心が高まっております。</p> <p>今年度の人権講演会は、「子供を犯罪の加害者にしない子育て～ネット社会における子育て～」と題し、元警視庁警察官 子育てアドバイザーの幸島 美智子(こうじま みちこ)様を講師にお招きして開催いたします。</p> <p>子供達を取り巻くネット社会において、子供を犯罪の被害者にも加害者にもさせない親の責務について考えていきます。</p> <p>開催日は1月13日(土)、場所は市役所大会議室です。人権講演会は、家庭教育学級として開催するもので、小中学校保護者の参加が中心となりますが、一般市民の方も受講可能となっております。今回も、会場受講に加えて、オンデマンド配信を実施いたします。</p>
事務局	<p>報告事項 市民大学講座「現代課題講座」の開催について 報告させていただきます。</p> <p>現代課題講座は、現代社会における諸課題について考えを深めることを目的に開催する講座です。</p> <p>今年度は、市民のメディアリテラシーの向上をテーマとし、元 TBS キャスターであり、白鷗(はくおう)大学教授の下村健一(しもむらけんいち)様を講師に迎え、「情報に惑わされないための“4つのジュモン”」というタイトルで御講演いただきます。インターネット上を飛び交うフェイクニュースや SNS に氾濫する不確実情報に惑わされないための視点を身に付け、メディアの発する情報を吟味し、熟慮して行動するためのメディアリテラシーを高める機会としてまいり</p>

	<p>ます。</p> <p>開催日は、2月17日(土)午後2時から、場所は、戸田市文化会館304会議室です。情報のウソ?ホント?を判断するために役立つ、4つのジュモンについて学ぶ講座となっております。この講座も会場受講に加えて、オンデマンド配信を実施いたします。</p> <p>報告は、以上となります。</p>
教育長	次に その他ですが、事務局より何かございますか。
事務局	特になし
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	報告事項 令和5年12月戸田市議会定例会 教育関連一般質問及び常任委員会について何かございますか。
委員	継続費補正について、新曽小学校は増加ですが、芦原小学校が516万1千円で減少しているのは何故でしょうか。
事務局	補正額の内訳は二つあります。一つが、もともとの予算に対して入札をした結果、金額が下がったことによる減額、もう一つが、近年の労務単価の増や、資材価格の増による工事費の増加です。以上を差し引きして減額となりました。本工事は、複数年事業であり、今年度につきましては、増額となりますが、令和6年度に関しては減額となります。以上です。
教育長	鋭い御指摘ありがとうございました。他にはございますか。
委員	歳出の方で、中学生海外体験派遣事業のリバプールが中止のため減額補正とのことですが、来年は実施の方向にあるのか、また、中国はどうなったか教えていただきたいです。
事務局	事業実施の主体である国際交流協会からの情報によると、現時点においては、来年度は中国とオーストラリアの両国に海外体験派遣を实

	<p>施する見込みであると同っておりますので、それに応じた予算取りをしていく予定です。</p>
教育長	<p>他には、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは報告事項 中学校選択制による入学希望校最終申込状況についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>笹目中学校を希望している区域外の 36 人は、どこの小学校が多いのでしょうか。美女木小学校でしょうか。</p>
事務局	<p>はい。特に美女木二丁目からは 26 人が希望しています。これは例年見られる傾向です。</p>
教育長	<p>それでは報告事項 第 22 回昔のくらし展の開催についてはいかがでしょうか。</p>
各委員	<p>特になし</p>
教育長	<p>それでは報告事項 市民大学講座・家庭教育学級「人権講演会」の開催についてはいかがでしょうか。</p>
各委員	<p>特になし</p>
教育長	<p>報告事項 市民大学講座「現代課題講座」の開催についてはいかがでしょうか。</p> <p>実は、この下村健一先生は相当忙しい方で、今回はかなり無理を言ってお願いをしています。私は、実際にお話を聞いた時にとっても感動しまして、久々に面白い講義を聞いたと個人的に感じましたので、ぜひ、お時間があれば教育委員の皆さんも聞いていただけたらと思います。飽きないことは保証いたしますし、本当にあっという間の 1 時間半です。</p>
教育長	<p>それでは次に、報告第 13 号 令和 6 年度特別支援学級設置計画について、事務局より説明願います。</p>

事務局	<p>報告第 13 号 令和 6 年度特別支援学級設置計画につきまして、御説明いたします。</p> <p>特別支援学級の設置については、児童生徒および保護者のニーズを確認しながら、かつ、教室の整備及び教師の配置等計画的に進めてまいりました。</p> <p>新曽中学校の知的障害特別支援学級については生徒及び保護者のニーズがなく、これまで未設置でした。この度、入級のニーズがあったことから、令和 6 年度から新設することといたしましたので報告いたします。</p> <p>なお、これにより未設置は芦原小学校のみとなりますが、増築の関係により、令和 7 年度からは教室が確保できますので、ニーズを確認し、設置していく方向です。</p>
教育長	何か御質問ございますか。
委員	特別支援学級の対象の児童は年々増えているのでしょうか。
事務局	はい。対象の児童・生徒は増えています。
教育長	これまで計画的に進めてきましたが、全ての学校に特別支援学級の設置の目処がついたことは、大変いいことだと思います。
教育長	それでは次に、議案第 32 号 戸田市立図書館及び戸田市立郷土博物館の特別整理期間に伴う休館について、事務局より説明願います。
事務局	<p>議案第 32 号 戸田市立図書館及び戸田市立郷土博物館の特別整理期間に伴う休館につきまして、御説明いたします。</p> <p>戸田市立図書館では、戸田市立図書館条例第 6 条に基づき、令和 6 年度の蔵書点検等を実施するため、表の期間のとおり休館します。</p> <p>また、郷土博物館では、中央図書館の特別整理期間に合わせて、戸田市立郷土博物館条例第 6 条に基づき、収蔵庫の清掃及び資料の点</p>

	検・整理等を実施するため、休館するものでございます。
教 育 長	<p>以上で説明が終わりましたが、御質問等いかがでしょうか。</p> <p>私から一つお願いしたいことがございます。以前、議員の方から周知について御意見をいただいたことがありますので、ぜひ、広く周知をお願いいたします。</p> <p>他には御意見等ございませんか。</p>
各 委 員	特になし
教 育 長	御意見がないようですので、議案第 32 号は提案内容のとおり議決することとして御異議ございませんか。
各 委 員	異議なし
教 育 長	異議なしと認め、議案第 32 号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	それでは次に、次第 7 その他「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事 務 局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、1 月 18 日（木）午後 3 時 30 分からの開催について、お伺いいたします。
教 育 長	次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし
	【閉会】



	以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。
	令和6年1月18日
	教 育 長
	教育長職務代理者
	委 員
	委 員
	委 員
	書 記